

| 科目名 | クラス | 講義区分 | 科目ナンバリング | 曜日 | 科目名 | クラス | 講義区分 | 科目ナンバリング | 曜日 |
|-------|------|------|----------|-------|-----|-----|------|----------|----|
| 国際政治史 | <春集> | | POLS2420 | 月3・木1 | | | | | |

【教員氏名】
塚田 鉄也

【単位数】
4 単位

【授業形態】
『講義』

【講義・演習概要】
国際政治は、国内政治とは少し異なった、独特の仕組みを有しています。本講義では、国際政治史上の主要な出来事を学びながら、国際政治がどのような仕組みを有しているのか、そうした仕組みはどのように形成され、現在にいたるまでどのように持続・変化してきたかを考察します。

【学習（到達）目標】
①国際政治史上の主要な出来事について理解し、説明できる
②国際政治がどのような仕組みを有しているか理解し、説明できる
③国際政治の仕組みがどのように形成され、どのように持続・変化してきたかを理解し、説明できる

【講義・演習計画】
第1回：国際政治史を学ぶ意義
第2回：国際政治の基本構造
第3回：国際政治の理論
第4回：16世紀のヨーロッパ
第5回：三十年戦争とウェストファリア体制
第6回：勢力均衡の時代①：同盟の論理
第7回：勢力均衡の時代②：小国の運命
第8回：革命の時代
第9回：ウィーン体制の形成と展開
第10回：パクス・ブリタニカ
第11回：新たな勢力の登場①：ドイツ
第12回：新たな勢力の登場②：アメリカ、イタリア、日本
第13回：帝国主義の時代①：帝国主義の諸相
第14回：帝国主義の時代②：大関係
第15回：第一次世界大戦
第16回：パリ講和会議
第17回：ロシア革命
第18回：1920年代の国際関係
第19回：1930年代の国際関係
第20回：第二次世界大戦
第21回：戦後秩序の模索
第22回：冷戦時代①：起源
第23回：冷戦時代②：展開
第24回：冷戦時代③：終結
第25回：パクス・アメリカーナ
第26回：ヨーロッパ統合の歴史
第27回：脱植民地化の展開
第28回：冷戦後の国際関係
第29回：21世紀の国際関係
第30回：まとめ

【成績評価の方法】
試験評価：100%
試験では各到達目標に関連する知識問題と論述問題を出题します。

【テキスト】
小川浩之・板橋拓己・青野利彦『国際政治史—主権国家体系のあゆみ』（有斐閣）

【参考文献】
君塚直隆『近代ヨーロッパの国際政治史』（有斐閣、2010年）
有賀貞『国際関係史—16世紀から1945年まで』（東京大学出版会、2010年）
有賀貞『現代国際関係史—1945年から21世紀初頭まで』（東京大学出版会、2019年）
佐々木雄太『国際政治史—世界戦争の時代から21世紀へ』（名古屋大学出版会、2011年）

【事前および事後学習の指示（事前学習 60 時間 事後学習 60 時間）】
テキストの指示された部分を事前に読んでおいてください。また、国際政治史を理解するには、世界史の知識が不可欠です。高校で世界史を履修していない場合は、簡単な入門書等（初回の授業で紹介）も活用してください。